

次の時代を切り拓く 輝かしい年頭にあたり ～座すことなく出でて活路を～



高山市長 くにしま 國島 みちひろ 芳明

明けましておめでとうございます。
市民の皆様にとつて、安らかで幸多き年になりますこと心から祈念し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は市制施行80周年を迎えた節目の年でした。その節目にあたり、私は市民の皆様とともに先人から受け継いだ自然や歴史、文化、伝統への誇りと愛着の心を次世代に『つたえる』、地域間・都市間・世代間で連携して交流の輪を『ひろげる』、高山の良さを再発見し創造して新たな魅力を『つくりだす』ことに取り組んできたところです。この動きや思いを一過性にするのではなく、今年から始まる高山市の新しい歴史に確実に継承していく所存です。

また、昨年は市の歴史上、記念すべき年でもありました。「高山祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産の登録決定をはじめ、「飛騨匠の技・こころ」木とともに、今に引き継ぐ「300年」の日本遺産認定、そして高山市の新しい玄関口「高山駅・東西自由通路」の完成など、いずれも市の将来にとつて大きな礎となる出来事です。

この記念すべき年の財産を次世代に引き継いでいくことと、国内外の一人でも多くの人々に知ってもらい愛してもらおう努力を惜しまないことは、今の時代をお預かりする私の責務であると改めて認識いたしましたところ です。

市民の皆様にも、高山の財産の保存と継承、そして発信と創造にあたり、格別のご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。

さて、市を取り巻く経済情勢です。観光は右肩上がりの観光客数で推移していますが、為替などの国際情勢に影響を受けにくい新たな誘客戦略を打ち出す必要があります。そして、農業や地場産業をはじめとする基幹産業の積極的な振興も今まで以上に取り組まなければなりません。本年も景気浮揚と地域経済の一層の発展に努めてまいります。

私のまちづくりの究極の目標は「他者に依存しない自立した高山市」を築くことでもあります。例えば、地域の皆様が「自分たちのまちを自分たちの力でつくること」や「明日を担う子どもたちが夢を抱きそれが実現できること」など、あらゆる市民の皆様が経済的にも精神的にも自立できるまちを創りたいと思っております。そのために「まちをつくるためには人が必要」「人が住むためには仕事が必要」との前提から、雇用の創出をはじめ、安心して住みやすく暮らしやすい生活環境づくり、豊富な自然エネルギーの活用、さらには文化芸術の振興などに力を注いでまいりました。

市民の皆様にも、頑張っている人を励まし支え合い、手と手を取り合いながら、和と友愛のお気持ちで新しい高山市を築いていく歩みを共に進めていただければ幸いです。

私も座すことなく率先して出でて、新しい時代の活路を切り拓いてまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。年頭にあたってのごあいさつとさせていただきます。